

(社) 秦野市シルバー人材センター平成23年度事業報告

1 概況

まず、事業実績全体の状況ですが、合計 234,141,133 円で前年度比 3.6%のプラスとなりました。これは、運動公園及びおおね公園の管理業務委託の増加により、公共契約が前年度比 9.95%のプラスとなったことによるものです。また、一般家庭も前年度比 18.3%のプラスとなり、結果的に公共及び一般家庭の増加が、民間企業の 16.8%のマイナスをカバーしたことが平成23年度の大きな特徴です。特に一般家庭が、受注件数で前年度比 195 件 9.8%のプラスとなったことは、就業開拓部会及び就業開拓サポーターがチラシ配布や戸別訪問などの活動を進めたことによる成果と思われます。独自事業においても、訪問ヘアカット、ハチの巣駆除事業、刃物研ぎ、書道教室など、独自性の高い事業が増えてきたことは、当センターの存在価値を高めていると感じています。新たに始めたエコたわし製作については、順調な滑り出しをしましたが、平成24年度から開始した「洋服リフォーム事業」も、エコたわし製作と同様に、女性の特技を活かし、当センターを特徴づける大きな事業となるよう、積極的に準備に取り組んでまいりました。これからも会員の技能を活かし、地域ニーズに応え、当センターの存在意義を高められるような事業展開を進めたいと考えます。

次に、会員の状況ですが、年度末の会員数は 665 名であり、前年度より 35 名の増加となりました。年間の入会者数及び退会者数を前年度と比較すると、入会者数が 21 名増、退会者数が 17 名の減となっております。入会者数の増加については、普及啓発部会を中心とした PR により、当センターの存在が認知されたことによるものと感じております。

しかし、シルバー人材センターの就業が臨時的・短期的なものであることを理解されないうまま入会された方も多く見受けられますので、今後は、シルバー人材センターの趣旨・目的を正しく伝えるための努力が必要ではないかと感じます。また、総務部会が推進している「新入会員研修」及び「接遇講習会」の効果が見えてきております。これからも会員の皆様には、お客様とは丁寧な言葉や態度で接することを常に心がけていただきたいと思います。

就業率は、87.4%を示し、男女ともに前年度に比べて高くなっております。しかし、月間の就業率は平均 66%であり、会員のニーズに合った継続的な就業の開拓がさらに必要ではないかと考えます。

地域班等の組織活動についても活発に行われました。2年目を迎えた「地区活動の日」は各地区で開催され、地区懇談会や班会議と合わせて地区の会員が交流する機会が増えることとなりました。センター事業活動の基本は、地域班組織の充実にあると考え、今後も積極的に取り組んでまいりたいと考えますので、会員皆様のご協力をお願いします。

安全就業管理委員会では、就業場所の巡回点検、無事故日数ボードの活用、安全運転講習会の実施など、安全意識の向上を目指して活動してきました。しかし残念なことに、一

部の作業グループにおいて事故が多発したこともあり、平成23年度は、前年度に比べて傷害事故が2件、賠償事故が3件増加することとなりました。この作業グループには、作業を中断して安全対策会議を開くなど、厳しい態度で対応した結果、その後の事故はなくなりました。この反省から、各作業グループ内において安全作業の徹底を自主的に進めていただけるよう、安全就業対策員の研修等に努め、事故ゼロにつなげたいと考えておりません。

ひまわりの会の活動も、例年どおりの総会や懇談会を積極的に開催しました。また商工まつり、市民の日及び保健福祉センターフェスティバルなどのセンター事業をPRするイベントにおいては、欠かすことの出来ない存在となっております。また、ゴールドクラブについては、震生湖の看板の根元に水仙の球根を植え、エコたわしのラッピングを手伝うなど、センター事業を側面から援助する活動を展開しました。これからも会員を増やしながら、ゴールドクラブの設置目的である地域社会への貢献を目指して活動していきたいと考えます。

平成23年度の様々な事業の中でも、「第3次中・長期基本計画」の策定と新公益法人への移行を進めたことは特筆すべきことと考えられます。第3次中・長期基本計画は、現状の問題点に対する解決策を提示する形により、大きく8項目に分けて策定されました。特に、財政の健全化については、当年度収支をゼロとするため、人件費の大幅な削減を求めなど、5年間の活動の指針としてまとめたものです。また、新公益法人への移行については、平成24年4月1日に無事移行登記をすませ、「公益社団法人」として新たにスタートすることが出来ました。「公益社団法人」として認定された以上、不特定多数の市民のニーズに応えなければなりませんので、移行後の活動はさらに重要となります。

一方、事業収支は、徹底した経費の節約に努めたことに加え、当初の見込みより収入が伸びたため、結果的にプラス決算となりました。しかし、この状況に甘んじることなく、今後も節約に努め、健全な財政状態を維持していきたいと思っております。引き続き、会員皆様のご協力をお願いいたします。

以上のように、平成23年度は当センター事業にとって、大きな一歩を踏み出した一年でした。今後も、公益社団法人秦野市シルバー人材センターとして、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づき、会員皆さんともどもセンター運営に取り組んでまいります。

2 会員の状況

(1) 年度末の会員状況

単位：人

	H23. 3. 31	入会者数	退会者数	増 減	H24. 3. 31
男	4 7 1	9 9	8 1	1 8	4 8 9
女	1 5 9	4 0	2 3	1 7	1 7 6
計	6 3 0	1 3 9	1 0 4	3 5	6 6 5

(2) 会員の年齢階層別構成

(H24. 3. 31 現在)

単位：人・() は前年度末

年齢階層	男女別	男	女	計
60 歳未満		(0) 0	(0) 0	(0) 0
60 歳～64 歳		(50) 4 6	(20) 2 3	(70) 6 9
65 歳～69 歳		(168) 1 6 5	(65) 6 7	(233) 2 3 2
70 歳～74 歳		(172) 1 9 3	(49) 5 4	(221) 2 4 7
75 歳～79 歳		(64) 6 6	(20) 2 6	(84) 9 2
80 歳以上		(17) 1 9	(5) 6	(22) 2 5
合 計		(471) 4 8 9	(159) 1 7 6	(630) 6 6 5

		平成 2 1 年度末	平成 2 2 年度末	平成 2 3 年度末
会員の平均年齢		7 0 . 2 歳	7 0 . 4 歳	7 0 . 7 歳
最高年齢	男	8 6 歳	8 6 歳	8 7 歳
	女	8 5 歳	8 5 歳	8 6 歳
最低年齢	男	6 0 歳	6 0 歳	6 1 歳
	女	6 1 歳	6 1 歳	6 0 歳

(3) 地区別会員数

(H24. 3. 31 現在)

単位：人・() は前年度末

地区別	会員数	男	女	計
本町地区		(54) 5 9	(28) 2 8	(82) 8 7
南地区		(64) 6 2	(33) 3 8	(97) 1 0 0
東地区		(42) 5 0	(20) 2 2	(62) 7 2
北地区		(37) 3 4	(11) 1 4	(48) 4 8
大根地区		(124) 1 4 1	(31) 3 1	(155) 1 7 2
西地区		(150) 1 4 3	(36) 4 3	(186) 1 8 6
合 計		(471) 4 8 9	(159) 1 7 6	(630) 6 6 5

(4) 年間就業率

(H23. 4. 1～H24. 3. 31)・() は前年度末

総合 (86. 2%)	87. 4%		
男 (82. 4%)	83. 6%	(388)	409人 (就業人員)
		(471)	489人 (会 員 数)
女 (97. 5%)	97. 7%	(155)	172人 (就業人員)
		(159)	176人 (会 員 数)

3 平成23年度月別事業実施状況調

(H23. 4. 1～H24. 3. 31)

区分	月別	4	5	6	7	8	9	
受託件数 (件)		218	286	514	480	530	453	
従事延実会員数 (人)		647	934	1,610	1,631	1,602	1,454	
延従事日数 (日)		3,176	3,936	4,752	4,769	4,741	4,468	
区分	月別	10	11	12	1	2	3	合計
受託件数 (件)		521	486	415	195	197	197	4,492
従事延実会員数 (人)		1,693	1,457	1,267	605	600	587	14,087
延従事日数 (日)		9,458	4,907	4,360	3,515	3,529	3,742	55,353

(注)「受託件数」とは「受注件数」のうち、作業月に会員がセンターから仕事を請けた件数である。つまり1年間継続する契約を1件受注した場合、会員はセンターから毎月(年12回)受託したとするもの。

4 平成23年度発注者別事業実施状況調

(H23. 4. 1～H24. 3. 31)

() は前年度末

受注区分	実績	受注件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)	比率 (%)
公共委託事業	(46)	41	(25,076) 30,328	(116,827,307) 128,455,684	54.9
民間企業 委託事業	(320)	303	(15,036) 13,405	(61,458,495) 51,126,484	21.8
一般家庭 委託事業	(1,983)	2,178	(6,415) 7,796	(35,092,723) 41,499,669	17.7
独自事業	(857)	844	(3,905) 3,824	(12,636,466) 13,059,296	5.6
合 計	(3,206)	3,366	(50,432) 55,353	(226,014,991) 234,141,133	100.0

5 平成23年度職群別事業実施状況調

(H23.4.1~H24.3.31)

() は前年度末

職群別	実績 受注件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)	比率 (%)
技術群	(24) 30	(228) 291	(1,380,270) 1,309,036	0.6
技能群	(1,309) 1,333	(4,298) 4,451	(33,111,670) 33,209,383	14.2
事務整理群	(14) 12	(1,122) 1,144	(6,082,504) 6,188,560	2.6
管理監視群	(21) 23	(14,431) 15,733	(67,059,698) 81,095,926	34.6
一般作業群	(1,651) 1,745	(26,832) 30,119	(106,985,647) 101,312,275	43.3
サービス群	(184) 217	(3,334) 3,015	(9,730,844) 8,817,462	3.8
折衝外交群	(3) 5	(187) 584	(1,664,358) 2,174,251	0.9
その他	(0) 1	(0) 16	(0) 34,240	0.0
合計	(3,206) 3,366	(50,432) 55,353	(226,014,991) 234,141,133	100.0

※一般作業群とは従来の軽作業群である。

※職群の名称は全シ協の例による。

6 過去3年間における契約金額の推移

単位：円

	公共	民間	一般	独自	合計	契約金額 公共比
H2 1 度	117,118,303	56,369,526	32,923,109	11,411,045	217,821,983	53.8%
H2 2 度	116,827,307	60,751,257	35,791,961	12,644,466	226,014,991	51.7%
H2 3 度	128,455,684	51,126,484	41,499,669	13,059,296	234,141,133	54.9%

※契約金額には配分金、事務費、材料費が含まれる。

7 事故発生状況

	傷害事故	賠償事故	合計
H2 1 度	4 件	7 件	1 1 件
H2 2 度	5 件	9 件	1 4 件
H2 3 度	7 件	1 2 件	1 9 件

8 主要事業実施状況報告

(H23. 4. 1~H24. 3. 31)

(1) 総会関係

第42回及び第43回通常総会を開催し、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算及び役員を選任を行ったが、原案通り承認可決された。

ア 第42回通常総会

日時 平成23年5月30日開催

内容 定款の一部改正・移行後の役員を選任・移行認定申請について・平成22年度事業報告・収支決算・役員を選任について

参加者 会員・役員519名出席（うち委任状385名）

イ 第43回通常総会

日時 平成24年3月30日開催

内容 中長期基本計画・平成24年度事業計画・収支予算について・定款の一部改正等

参加者 会員・役員542名出席（うち委任状406名）

(2) 理事会関係

4回の理事会を開催し、正会員の入会承認の専決処分についての報告、規程等の改正等を行った。

ア 第1回理事会

日時 平成23年5月16日開催

内容 専決処分の報告・定款の一部改正・移行後の役員を選任・移行認定申請について・H22年度事業報告・H22年度収支決算・役員を選任

イ 第2回理事会

日時 平成23年10月17日開催

内容 定款の一部改正について

ウ 第3回理事会

日時 平成23年12月22日開催

内容 専決処分の報告・弔慰要綱について・事業計画の骨子等の協議

エ 第4回理事会

日時 平成24年3月12日開催

内容 専決処分の報告・中長期基本計画について・H24年度事業計画・収支予算(案)・執行に係る承認について・役員賠償責任保険について・諸規程等の名称変更に伴う読替えについて

(3) 監査関係

平成22年度事業報告及び収支決算監査については、平成23年5月10日にセンター会議室において、監事2名により行い、結果は良好であった。

(4) 運営会議

毎月1回、正会員の入会承認、施設管理就業交代、専門部会の運営、運営上の諸問題等についての協議を行った。

(5) 専門部会・委員会関係

ア 総務部会

総務部会は毎月1回開催し、各種研修内容などの協議を行った。また、きずなの掲載内容について、編集委員と協議を行った。

接遇講習会については、グループ討議形式のものを2回、外部講師によるものを2回実施し、合計132名の参加を得た。さらに新入会員研修会を10回実施し、グループリーダー研修会を2回、新任地域班班長研修会を1回、グループ代表会議を6回開催し、事業概要の説明やグループ間の調整に努めた。

イ 就業開拓部会

就業開拓部会は毎月1回開催し、新規独自事業の検討を行った。企業訪問については、従来どおり就業開拓サポーターは37ヶ所の介護施設を訪問し、集合住宅へのポスティング3,231件を実施した。また、今年度は部会員4名で市内の企業204社を訪問し、新規就業場所の開拓を行った。さらに、新規独自事業として平成24年4月からの実施に向けて、「洋服リフォーム」の準備を進めた。

ウ 普及啓発部会

普及啓発部会は毎月1回開催し、商工まつり、市民の日、保健福祉センターフェスティバル等でのPR方法についての協議を行い、各イベントに参加した。また、公民館まつりの際にチラシ配布を行うなど、地域に密着したPR活動に努めた。

エ 安全就業管理委員会

毎月1回健康なんでも相談を実施し、延べ101人(男73人・女28人)の受診があった。委員会は全3回開催し、巡回調査の結果や安全対策についての協議を行った。就業場所22ヶ所を巡回調査し、必要に応じて注意等を行い、安全就業の徹底に努めた。交通安全教育については、まずドライブシュミレーターによる安全運転適性検査を保健福祉センターにて実施し、また秦野警察署の協力により、秦野自動車教習所にて実車を使った安全運転講習会を行い、安全運転意識の向上に努めた。

オ 顕彰審査委員会

平成23年4月22日に開催し、被表彰者の検討を行った。

(6) ひまわりの会

役員会は全7回開催し、懇親会の企画などを検討した。女性会員の交流を深めながら各種イベントで手作り品の展示、独自事業として立ち上げられた「エコたわし」の注文販売への協力など、積極的な活動を展開した。

(7) ゴールドクラブ

商工まつりや市民の日におけるシルバーPRの日の準備や「ふれあい演芸と趣味の発表会」記念品のラッピング作業に参加し、また独自の事業として弁財天上の震生湖看板周辺に水仙の球根植付けを行い、市観光地整備への協力を行った。

(8) 職種別懇談会

グループ設置職種では、それぞれ定期的にリーダー調整会議やグループ懇談会を開催し、受注した仕事の分担や作業に関する問題を協議した。それ以外の定期作業場所の会員においても、自主的な懇談を行い就業に関する問題などを協議した。またグループ代表会議を6回開催し、グループ間の連絡及び共通課題の協議を行った。

(9) 技能講習会

年間計画に基づき、各種技能講習会を実施した。

ア 草刈機の使い方講習会

日 時 平成 23 年 6 月 16 日開催
内 容 草刈機の安全操作について
参加者 会員・市民 22 名参加

イ 網戸の張替講習会

日 時 平成 23 年 7 月 27 日開催
内 容 網戸の張替に関する知識及び技能について
参加者 会員・市民 8 名参加

ウ 植木のせん定作業体験 初級編・中級編（SSP事業）

日 時 平成 23 年 9 月 29 日（初級）・10 月 31 日（中級）
内 容 植木の手入れに関する講義と実技について
参加者 会員・市民延 60 名参加

エ 襖張り講習会

日 時 平成 23 年 8 月 8 日開催
内 容 襖張りに関する講義と実技について
参加者 会員・市民 3 名参加

オ パソコン講習会

日 時 平成 23 年 10 月 31 日開催
内 容 年賀状作成の基本操作について
参加者 会員・市民延 13 名参加

(10) 地域班活動

地域に根ざした活動を展開するため、地域班班長会議、各地区懇談会、各地区班長会議・班会議及び地区活動の日を実施した。

ア 新任地域班班長研修会

日 時 平成 23 年 6 月 22 日開催
内 容 センター事業概要及び地域班の活動について
参加者 4 名参加

イ 地域班班長会議

日 時 平成 23 年 8 月 1 日開催
内 容 地域班の活動について
参加者 地区担当理事・地域班班長 48 名参加

ウ 各地区班長会議・班会議

日 時 平成 23 年 4 月 15 日～平成 24 年 3 月 5 日開催
内 容 情報交換・地区懇談会について他
参加者 延 316 名参加

エ 地区懇談会及び地区活動の日

地区	地区懇談会			地区活動の日		
	日時	参加者数	会場	日時	参加者数	内容
本町	10/20	31	曾屋ふれあい会館	10/20	20	曾屋ふれあい会館の清掃
南	9/29	46	保健福祉センター	10/29	20	南地区各地～震生湖までの清掃
東	10/20	22	東公民館	11/ 1	14	東公民館の清掃
北	10/12	16	北公民館	11/21	13	北公民館の清掃
大根	10/31	75	大根公民館	4/ 4	19	自宅～権現山展望台までの清掃
				9/19	19	大根公民館の清掃
西	10/24	81	堀川公民館	11/22	40	運動公園の清掃
	合計	271		合計	145	